

令和3年度

事業報告

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人 堺市公園協会

目 次

事業報告書

I 法人の概況	(3)
II 事業の状況	(6)
1. 事業の実施状況	(6)
1 - 1 堺市はなみどり基金事業	(7)
1 - 2 緑化普及啓発事業	(8)
1 - 3 公園愛護会活動支援事業	(10)
1 - 4 花と緑の市民協働事業	(11)
1 - 5 都市緑化センター指定管理事業	(12)
1 - 6 公園等管理運営事業	(14)
1 - 7 駐車場運営等事業	(15)
駐車場概要	(17)
駐車場利用状況	(19)
2. 重要な契約に関する事項	(20)
3. 役員会に関する事項	(21)
4. 経営指標等の推移	(23)
III 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	(24)

事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和45年9月4日

平成25年7月1日 公益財団法人移行

2. 定款に定める目的

協会は、堺市の都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るとともに、市民の公園緑地に対する愛護精神の普及啓発並びに緑化の推進に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 市民の緑化意識の高揚と緑化活動支援事業
- (2) 都市公園・緑地等の保全と多様な利活用の促進事業
- (3) その他協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所轄官庁に関する事項

大阪府総務部法務課

5. 主たる事務所所在地

主たる事務所所在地	大阪府堺市堺区東上野芝町1丁4番地3 花と緑の交流館2階
連絡担当者	総務課長 増田 剛雄
電話番号	072-245-0070

6. 出捐者等の状況

(単位 千円)

出捐者	出捐金額	比率
堺市	1,000	100%
合計額	1,000	100%

7. 役員等に関する事項

評議員名簿

令和4年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
評議員	加我宏之	非常勤	大阪府立大学大学院教授
評議員	長村智司	非常勤	一般社団法人フラワースサイエティ会長
評議員	隈元英輔	非常勤	公益社団法人堺観光コンベンション協会 会長
評議員	久保直樹	非常勤	堺商工会議所常務理事
評議員	小松信夫	非常勤	堺市農業協同組合代表理事専務

役員名簿

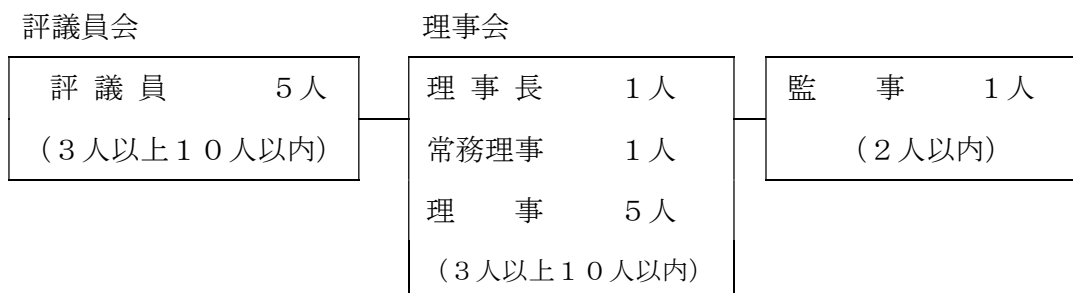
令和4年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事	中村甫	非常勤	株式会社ジェイコムウエスト 地域プロデューサー
理事	大町啓之	非常勤	堺市公園愛護会会長
理事	森口巖	非常勤	堺市自治連合会顧問
理事	上田萌子	非常勤	大阪府立大学大学院助教
理事長	西野彰記	常勤	
常務理事	山上英信	常勤	事務統括
理事	渡邊幸代	非常勤	南海電気鉄道株式会社 社長室 ブランド統括部長
監事	蒲生武志	非常勤	公認会計士

(注)役員等に対する報酬総額は10,438千円です。

8. 職員等に関する事項（令和4年3月31日現在）

（1）組織図



事務局

事務局長（常務理事兼務）	（1人）	
総務グループ	5人	常勤 3人 非常勤 2人
業務総括担当	1人	常勤 1人
愛護会グループ	8人	常勤 4人 非常勤 4人
緑化推進グループ	7人	常勤 3人 非常勤 4人
都市緑化センターグループ	3人	常勤 2人 非常勤 1人

（2）職員の状況

区分	職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
常 勤	13人	0人	52歳5ヶ月	22年8ヶ月
非常勤	11人	△4人	52歳4ヶ月	3年3ヶ月
合計又は平均	24人	△4人	52歳4ヶ月	13年9ヶ月

（注1）職員に対する人件費（給料手当）の総額は115,274千円です。

（注2）上記のほか、臨時雇用職員は9人です。

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

堺市の人口動向等においては減少傾向にあり、生産年齢人口の減少や超高齢社会が進行している。世帯構成も高齢化が進行し、1人世帯が最も多く、次いで2人世帯と小規模な世帯の比率が高く、また高齢者の単独世帯が増加している。

このような人口動向による堺市マスタープランで示されている居住魅力に関する課題に人口減少が進む旧市街地等におけるコミュニティの維持や既存ストックの活用、ファミリー層を中心とした人口流出の抑制と高齢者等が暮らしやすい安全安心の居住環境づくりが挙げられている。

当協会では、これらを鑑みて市民ボランティアと連携し公園愛護活動や花苗の育苗、飾花、公園利用者の利便性を高め、かつ駐車場運営の合理化に加えて公園内の災害ベンダーとして自動販売機の増設を進め、安全安心な公園利用に努めてきた。

今後も収益事業経営の見直しの実施に向け、新たな付加価値を見出し堺市と協議・調整を進めていく。

昨年度に引続き、新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため、市民活動団体などの共同作業やイベントは開催中止若しくは規模縮小となった。

今後も引続き、堺市に活動支援策の提案を行うとともに、次世代を担う子ども達が花・緑に関心をもつようなイベントの開催などを行い、市民の身近に緑を増やす活動として緑化普及啓発事業の拡充に努めることとする。これらをふまえて堺市の都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るために、以下の事業に取り組んだ。

1. 堺市はなみどり基金事業
2. 緑化普及啓発事業
3. 公園愛護会活動支援事業
4. 花と緑の市民協働事業
5. 都市緑化センター指定管理事業
6. 公園等管理運営事業
7. 公益事業を展開するための収益事業

事業の実施状況は次のとおりである。

1-1 【堺市はなみどり基金事業】

1. 堺市はなみどり基金事業

(1) 地域緑化活動支援 (事業支出額3,066千円)

① みどり活動支援

地域緑化活動団体や市内で緑の活動を行っている団体に対して、園芸資材、肥料、用土等の資材支援を行い、自主活動へと発展するよう運営サポートを行った。

・申請校区：66校区

・支援内容：園芸資材・・・種子（秋・春）、灌水ホース、樹木（低木類）、球根等
肥料・・・化成肥料、害虫殺菌用薬剤等
用土等・・・赤玉土、腐葉土、培養土、花の土等

② 記念樹配付等

民有地緑化の推進及び緑化意識の向上を目的に、市民の出生、結婚、入学、銀婚、金婚等の人生の節目を祝う記念樹として苗木（203件）を秋・春に配付した。

・記念の種類：新築、出生、還暦、入学（小学校）、結婚、成人等

・記念樹の種類：フェイジョア、オリーブ、ライラック等

(2) 花のボランティア活動促進 (事業支出額2,583千円)

花のボランティア（花いっぱいやさかい）が種から育てた草花で地域の花飾りを行う緑化活動の支援をすることで、花と緑の美しい堺になるように、園芸資材、肥料、土壌改良材の支援及び運営サポート等を行った。

会員数：468人 育苗数：73,676株

圃場：4箇所（大仙圃場、とみおか圃場、荒山圃場、金岡圃場）

※花のボランティアは、例年春4回、秋4回、年8回活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための人数制限により、春8回、秋8回、年16回に計画変更。5月2回及び9月2回が中止になったため年12回（春・秋）の活動となった。

(3) はなみどり基金啓発 (事業支出額 447千円)

① 啓発冊子の発行

堺市はなみどり基金のしくみや市域で実践されている緑化推進活動等を啓発するための啓発冊子「緑の瓦版」を年2回、計9,000部を発行し、市内関係施設へ配付した。

1-2 【緑化普及啓発事業】

1. 緑化普及啓発事業 (事業支出額 2,672千円)

(1) 活動支援

① 学校緑化

学校を拠点として、地域住民、保護者、学校が一つとなって取り組む緑化活動に対して、種子などの資材及び技術支援を行った。(2小学校)

対象学校：福泉東小学校、榎塚台小学校

② オープンガーデンさかい

令和3年3月～5月の開催は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止した。庭主のモチベーションが低下しないよう、過去の開催風景をパネルにした「オープンガーデンさかい2021私のお気に入り写真展」を7月26日(月)～8月6日(金)の期間、南区役所にて開催した。

③ 出前相談

市民の緑化意識を高め、地域における花と緑のまちづくりを推進するため、堺市関連のイベントや各区役所に緑化相談窓口を月1回開設し「出前相談」を行った。

相談件数 各区役所：192件 イベント：0件(イベント不参加)

※緊急事態宣言発出及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月から6月は閉設。(1月及び2月は閑散期のため閉設)。

(2) 体験学習等

① 出前講習

自治会や緑化に関するボランティア団体などに対し、園芸知識、関心度の向上を行っていくために講師派遣を実施した。(11回)

② 園芸連続講座

園芸知識の向上を目的に「園芸連続講座(入門編、応用編)」を実施した。

(各10回) 入門編：28名 応用編：18名

③ 堺魅力探訪ウォーク

環境保全への意識向上を図るため、古樹名木や堺の史跡、古墳など歴史遺産などの訪ね歩きを、市民スタッフと一緒に計画し実施した。

一回目 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

二回目 11月14日(日)堺区方面で実施予定であったが応募者がなかったため中止

④ ホタル観賞会

市内では観る機会が少なくなった「ホタル」を都市緑化センターで飼育し、

堺仁徳ライオンズクラブ、大仙校区自治連合会、堺市都市緑化センター友の会、大阪府立堺支援学校と共同で観賞会を開催予定だったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 交流

花と緑のまちづくりに取り組む市民の情報交換や幅広い交流と連携を図る「花と緑のまちづくり交流会」を年5回開催した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年12回の実施を年5回へ変更

(4) 花と緑がいっぱいコンクール

市民目線で堺市内の魅力的な花や緑の景観を発掘し、より多くの市民に紹介することを目的とし、花と緑のまちを新たに広げていくことを目指すため、フォトコンクールとして「花と緑がいっぱいコンクール」を開催した。

応募数：189件

入賞者：グランプリ、準グランプリ、堺市長賞（各1点）、

堺市公園協会理事長賞（1点）、各区花みどり賞（7点）、カレンダー賞
（12点） 23点

(5) 共催及び協賛

- ・第56回堺さつき展（後援）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・第69回堺市菊花大会（協賛）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・市主催の各区民まつりのイベント参画

各区役所が主催する区民まつりへ参画し、緑化相談コーナー及び多肉植物や草花を用いた見本花壇を作成し、緑化普及啓発に努める予定だったが美原区以外の6区は新型コロナウイルス感染拡大防止のため区民まつりが中止となった。美原区は11月7日（日）に「みはら区民オンラインまつり」が開催されたので、作成動画を当該サイトに掲載する方法で参画した。

(6) その他事業

公園等で緑化の普及啓発と安全・安心なまちづくりとなる地域活動の活性化につなげるための催し等を開催した。

- ・ひまわり回廊

令和3年7月12日（月）～令和3年8月13（金）

堺市東区役所前健康ふれあい広場において、東区役所と共同で開催

1-3 【公園愛護会活動支援事業】

1. 公園愛護会活動支援事業 (事業支出額51,976千円)

堺市公園愛護会制度は、令和3年度より個人委嘱から団体登録(現在の個人活動者も継続)へ変更となり、新たな規約に基づき愛護活動団体の登録手続きを行った。また、公園愛護活動の充実を図るため、公園愛護活動に必要な資材・機材の貸出しなどの活動支援を行い、清潔で安全な公園の利用環境を保持できるように努めた。

泉北ニュータウン地区においては、自由広場使用の受付、抽選業務を行った。

- ・ 堺市公園愛護会区運営委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・ 堺市公園愛護会役員会 (1回)

1回目 令和3年12月20日(月) 於:堺市都市緑化センター多目的室

- ・ 校区交流会 (3回 金岡南、桃山台、槇塚台)
- ・ 公園愛護協力金 (1,125件、計 40,952,500円)
- ・ 清掃機材支援 (延べ279公園)
- ・ 用具庫設置 (12公園)
- ・ 用具庫修繕 (9件)
- ・ 泉北地区内自由広場抽選応募総数 (7,378通)
- ・ みどり通信臨時号及びみどり通信の発行 (各1,500部)
- ・ 共同作業 (5件)

※愛護会が主体となって適正な維持管理が継続できるよう愛護活動に必要な資

材・機材の使用方法を愛護活動日に合わせて講習する

- ・ 愛護活動団体等代表者変更手続き (3件)
- ・ 苦情・要望等の対応 (69件)

1-4 【花と緑の市民協働事業】

1. 緑化推進事業

(1) 市民組織支援 (事業支出額 201千円)

市民協働による緑のまちづくりを推進するため、大仙公園内平成の森づくりを「堺千年の森クラブ」と協働し、郷土種の樹木を育てたり、次世代の子どもたちに継承する環境学習として、緑の大切さなどを啓発しながら「平成の森」づくりを行った。

(2) 市民花壇等管理 (事業支出額 4,257千円)

日常的に利用する市内の主要駅前等のフラワーベースやハンギングバスケット等の植替えを市民、企業や各種団体(5団体)、学校等との連携・協働により実施し、花と緑のあふれる街づくりに努めた。

- ・ 令和3年度実施箇所

堺東駅、堺駅、上野芝駅、湊駅、鳳駅、深井駅、榎・美木多駅、光明池駅、堺警察署前、大小路筋

(3) 緑化祭運営 (事業支出額 0円)

都市緑化月間における緑化推進及び普及啓発・緑の保全に関する催しとして、市民やボランティア団体の協力を得て開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

1-5 【都市緑化センター指定管理事業】

1. 都市緑化センター指定管理事業 (事業支出額62,256千円)

都市緑化センターを訪れる市民へ憩いの場と、花と緑に関する知識・情報を提供するとともに、市民主体の花と緑のまちづくり活動を推進し、潤いと安らぎのある住みよい生活環境を実現するため、都市緑化センターの管理運営を南海ビルサービス株式会社との2者による指定管理者グループ“堺市公園協会・南海ビルサービス共同体”として行った。

都市緑化センター利用状況

年度	入場者数	緑の相談件数	講習会		展示会	
			回数	人数	回数	人数
元年度	162,297	3,188	122	2,014	42	65,671
2年度	83,947	2,632	43	400	17	11,138
3年度	84,898	2,376	95	1,005	22	8,270
対前年度比	101%	90%	221%	251%	129%	74%

2. 自主事業 (事業支出額440千円)

(1) 講習

- ・ゆとりある花と緑のライフスタイルの提案として花や緑を使った癒しの空間演出方法を学ぶ「生活に役立つガーデンライフ教室」を開催した。(野菜の栽培コース、我が家の四季の手入れコース 各4回開催)
- ・夏休みの期間、子ども達が都市緑化センター内で自然に触れることの楽しさを学ぶ体験学習会を7回開催した。(予定は8回であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため講師より中止したいとの申し出があり1回中止した)

(2) イベント

- ・花と緑のまちづくり活動の拠点施設である堺市都市緑化センター及び花と緑の交流館において、緑を育む人との輪を広げる交流の場を提供するため、四季を通じて学習・体験・交流のできる「グリーンメッセ堺の四季物語」を開催した。(4回の予定のところ、緊急事態宣言により春季を中止したため3回開催)

(3) 体験学習

- ・都市緑化センターの庭園を活用し、子ども達が五感を花と緑を通して感じることのできる「キッズフラワークラブ」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感

染拡大防止のため中止した。

(4) その他

- ・市民サービスとして、売店（グリーンショップ）の運営、花苗販売、ふれあい朝市、コイの餌の販売、自販機（4台）を設置した。

1－6 【公園等管理運営事業】

1. 原池公園管理運営事業（事業支出額128千円）

（1）市民植樹・花壇管理

後世に残す森づくりや公園利用者の目を楽しませる花壇づくりなどの事業は令和3年度では受託がなく、令和4年度以降に受託する予定となった。

（2）水面等緑化

公園内の「池」の水面や水辺を緑化するために自然な手法で浄化を行い、綺麗な水と花と緑で彩るように池の修景を行った。

1-7 【駐車場運営等事業】

1. 駐車場運営等事業

(1) 駐車場 (事業収入額 92,650 千円)

公園利用者の便益を図るため、駐車場(3公園、8箇所)の運営を行った。

また、荒山公園駐車場については、梅及び桜の花見による周辺道路での不法駐車
の防止、交通渋滞緩和のため、2月上旬から4月上旬まで管理を行った。

※駐車場利用状況については後述

※自動精算機導入(3公園、5箇所)

(2) 飲食物販 (事業収入額 19,700 千円)

① 飲料自動販売機(59公園、113台)

公園利用者の便益を図るため飲料自動販売機(災害救援ベンダー)の設置運
営を行った。

② 物販

・トートバッグ等物品の販売

百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録を記念し、トートバッグ、クリアホル
ダー等の販売を行った。

また、樹木の販売及びレンタルを行った。

※販売委託先：大仙公園「もず庵」、近つ飛鳥博物館、堺市都市緑化センター

・杉風舎・売店

堺市の友好都市である奈良県東吉野村の物産展示や観光紹介等を行う「杉風
舎」の管理運営を行った。

飲食物販事業収入一覧表

(単位：円)

種別	内 訳	収入金額	備考
販売手数料	自販機等販売手数料	18,569,785	
売上収入	古墳グッズ、樹木の販売及びレンタル	994,436	
使用料収入	杉風舎使用料収入	135,452	
合 計		19,699,673	
令和2年度		17,641,346	
令和元年度		16,051,751	

(3) 公共施設等の維持管理(請負事業) (事業収入額 8,434 千円)

各種団体より、緑地帯の維持管理業務等(剪定、除草)を請け負った。

- ・ 堺市関係(2件) 1,073,050円
- ・ その他(57件) 7,360,744円

(4) 貸し館 (事業収入額 3千円)

花と緑の交流館1階多目的ホールの貸し出しを行った。

貸し館利用状況

利用施設	件数
多目的ホール	1
計	1
令和2年度	2
令和元年度	117